

【資料 2-4】

(仮称) 小牧市地域こども子育て条例に関するアンケート結果

1 目的

(仮称) 小牧市地域こども子育て条例制定に向け、地域と子育ての関わりについてアンケート調査を実施することで条例制定の参考資料として活用するものである。

2 対象者

子育て中の保護者 77 人

【内訳】

- ・タウンミーティング (8/8) 参加者 55 人
- ・CKD「モノづくり」から学ぶ理科教室 (8/19) 参加者 22 人

3 回答者数 (回収率)

21 人 (27.3%)

参加者に対しアンケート用紙を配布し、郵送による回収

問 1 あなたの性別と年代をお答えください。

- 性別は、全員女性 (20 名)
- 年代別では、30 代が 6 割。

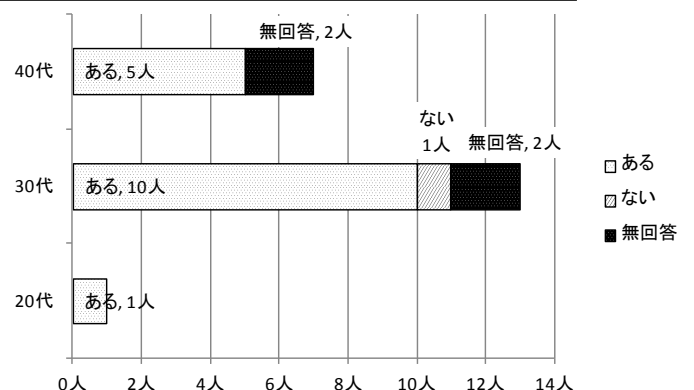
年代	回答数 (人)
20 歳代	1
30 歳代	13
40 歳代	7
合計	21

問 2 今の子ども達にどんな印象をお持ちですか。

- ・大切に育てられている。
- ・個人で活動している。
- ・外で遊ばない。／ゲームばかりやっている。
- ・習い事で忙しい。
- ・マニュアル通りしか動けない。
- ・男子と女子、障がい者と健常者、上級生と下級生の垣根が低く仲良く遊んでいる。

問 3 あなたがこどもだった頃、近所の人との関わりや地域活動を通じて自分の成長につながったエピソードはありますか。

- 全ての年代で 6 割を超える割合で、地域との関わりが自分の成長につながったと回答



【自分の成長につながった具体的なエピソード】

✓ 地域の行事

- ・地域の行事に参加して近所の人と接し、見守られている感じ
- ・地域の行事を大人が一生懸命企画してくれた。大人になり子を連れて行き感慨深く、地域への愛着深まる。

✓ 地域の見守り

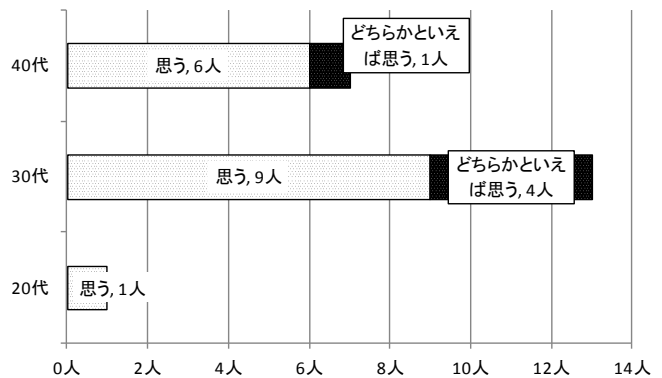
- ・地域の行事、地域ほとんど顔見知りであいさつ、防犯にもつながった。
- ・あいさつなど声かけで安心した。
- ・隣のおばさんと話をしたり、気にかけてもらい心強かった。今でも実家に帰ると頼れる。
- ・住んでいた大家さんから色々な話を聞いたり、体験させてもらった。
- ・親とは違うタイプの大人がいることを知った。

✓ 地域の助け合い

- ・友達の親と助け合い。(病院の送迎、ご飯食べたり)
- ・母の入院時に隣家の人が出てくれるなど近所とつながりがあった。
- ・近所の親も自分の子と同じように愛情を注いでくれた。
- ・学校帰りに近所の犬と遊んだり、その家族に良くしてもらったり近所との関わりが多かった。
- ・近所で火事があった時、バケツリレーを手伝った。

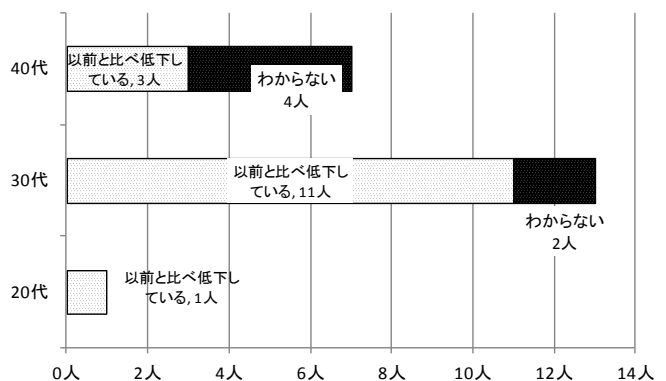
問 4 地域の人たちが協力し合って子育てやこどもの育ちのために関わること(地域の教育力)は、こどもの健やかな成長のために役立つと思いますか。

■ 全員が「思う」、「どちらかといえば思う」と回答



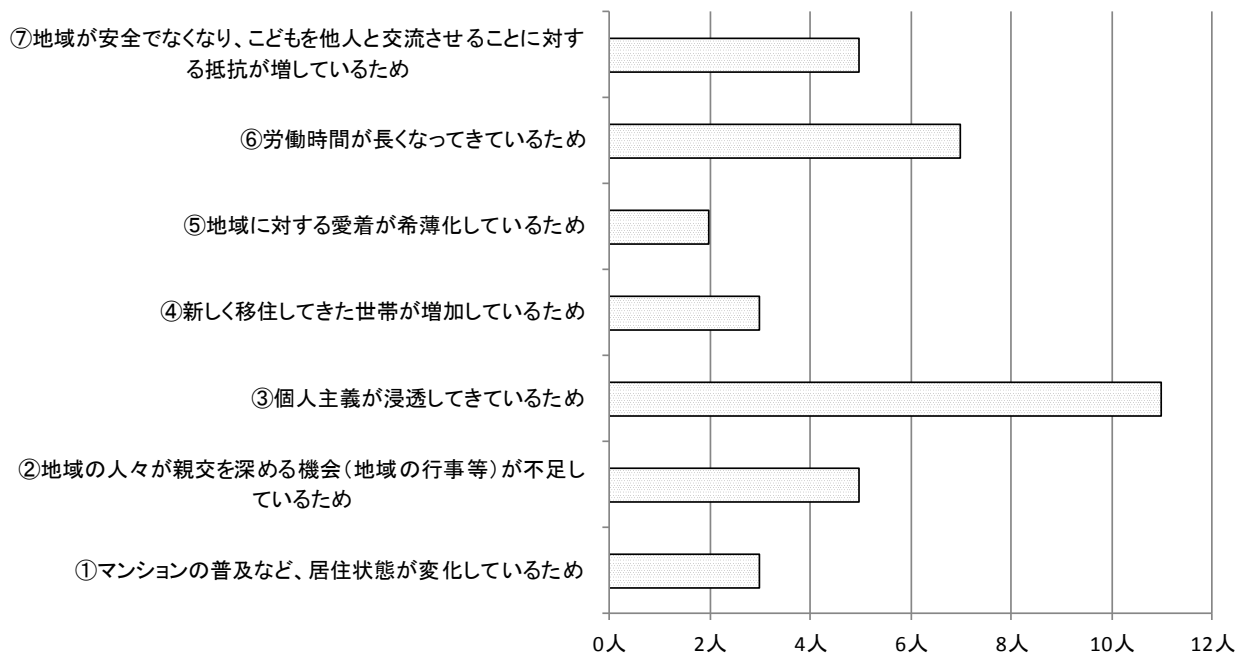
問 5 あなたがお住まいの地域で「地域の教育力」はあなたのこども時代と比べてどのように変化したと思われますか。

■ 全年代で半数以上が、以前と比べ「地域の教育力」は低下したと回答



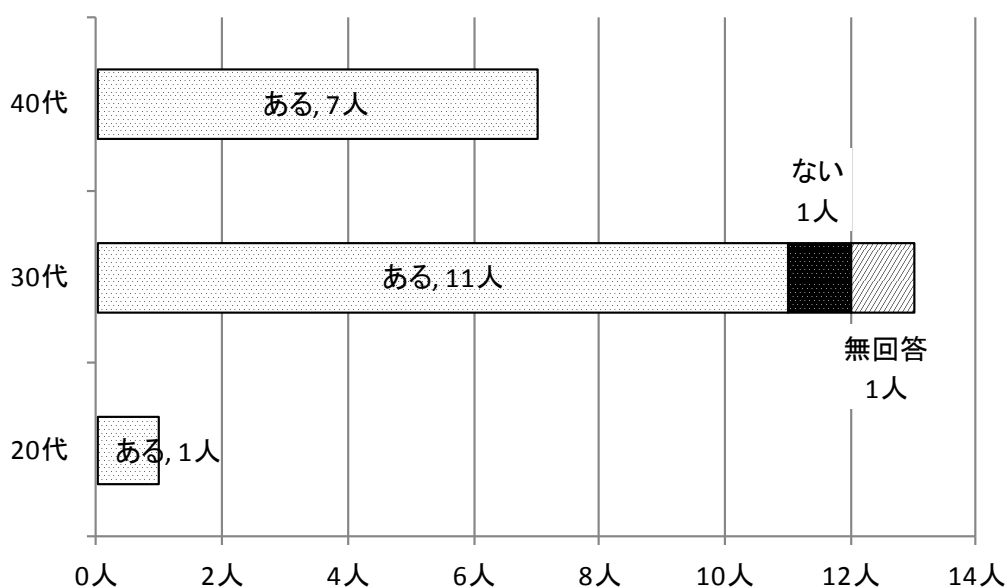
【資料 2-4】

問 6 問 5 で「以前と比べ低下している」と回答した方のみ。「地域の教育力」が低下している原因は何だと思われますか。（複数選択）



■「地域の教育力」が低下している原因として、「個人主義の浸透」を回答する人が最も多い。次いで、「労働時間が長くなってきているため」、「地域が安全でなくなり、子どもを他人と交流させることに対する抵抗が増しているため」を回答する人が多い。

問 7（1）子育てについて、不安なことがありますか。

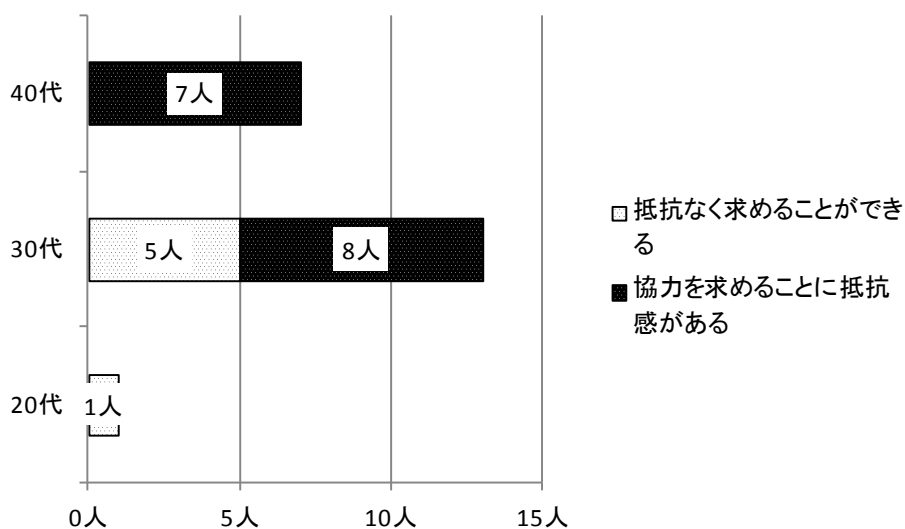


【子育てで不安なこと】

- ✓ 安全・安心
 - ・子の安全
 - ・学童保育の様子がわからず不安
 - ・近くに親族がおらず、災害時が心配。不審者情報が多く心配
- ✓ 教育
 - ・高校が近くに少なく将来が不安
 - ・保育園でも学習をして欲しい
 - ・共働きで習い事がさせられず学力が低下すること
 - ・子どもの人数が少なく中学卒業までに関われる人数が限られているので高校以降様々なタイプの人とうまく関わっていただけるかどうか
 - ・子との接し方、関わり方
- ✓ 子育て環境
 - ・子の送迎を手伝って欲しい
 - ・仕事をしながら子育てできる環境
 - ・仕事で子どもと接する時間が少ない
 - ・相談する場や相手がない
 - ・ケガや病気の際に良い病院がわからない。
 - ・金銭面

問 7 (2) 子育ての不安について地域の方に協力を求めることに対し、どのように感じますか。

- ① 抵抗なく求めることができる ② 協力を求めることに抵抗感がある



【協力を求めることに抵抗感がある理由】

- ✓ 安全・安心
 - ・協力を求められるまでの信頼関係がない
 - ・身内以外に預けることが心配。
 - ・近所の人でも安心することができない

【資料 2-4】

- ・地域と関わりが少ないだけに協力を求める相手が安全なのか、
- ✓ **遠慮**
 - ・申し訳ないと思う
 - ・相手は迷惑ではないのかなど色々考えてしまう。
 - ・それ位自分でやりなさいと思われそう
- ✓ **頼む人がいない・わからない**
 - ・どの人にどの程度もとめてよいかわからない
 - ・親同士の関わりも少ない中でどこに誰に協力を求めたらよいかわからない。
 - ・地域との接触がない
- ✓ **プライバシー**
 - ・近所に家庭の事を知られること
 - ・知り合いでないと助けをもとめにくい
- ✓ **その他**
 - ・親世代の方と子育ての考え方に違いがあり、困る。アレルギーに対する認識など。
 - ・年配者が少ない
 - ・ファミリーサポートは、手続きが面倒くさい

問7(3) 地域に最も協力を求めたいことはなんですか。前問で「抵抗がある」と答えた方は、どんなことであれば協力を求められるとおもいますか。

- ✓ **こどもの安全確保**
 - ・子どもを安心して預けられるところ
 - ・安全で安価で子を預けられる場所
 - ・子ども達が過ごす時の安全、見守り
 - ・地域の安全
 - ・災害時や不審者が出たときの見回り
 - ・子どもと地域とのかかわりをもつためにもある程度の学年になったら児童クラブを利用せず、安全、安心、地域の見守りがあるといい
- ✓ **地域との交流**
 - ・イベントなどでの関わり、その内容の相談等
 - ・大人同士の信頼関係がつけられる交流の場
 - ・近所の大人に色々教えて欲しい
 - ・大人からの声かけ
 - ・相談に乗って欲しい
- ✓ **その他**
 - ・病児保育を充実して欲しい
 - ・ゴミ当番免除など子育て家庭への配慮
 - ・子どもとの関心をもってもらいたい
 - ・家事援助